

市町村名	高山市	学校名	高山市立東山中学校			
校長名	井口 豪	対象学年	全校	人数	395名	
活動名	郷土の未来を語る会	時間数	当日3h 取組み10h	継続年数	1年	
題材	①自然環境 [乗鞍・宮川・桜 等] ②歴史 [陣屋・城山・国分寺・屋台 等] ③文化 [高山祭・郷土料理・めでた等] ④地場産業 [農業・新鮮野菜・春慶塗り・木工業・飛騨牛 等] ⑤絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [福祉 等] ⑥その他 (国際化・防災) [観光都市・安全な町等]					
複数年継続するための工夫改善	本年度1年目を迎える活動である。高山市の未来を、生徒たちにより多面的・多角的かつ自らに課せられた重要な課題と捉えさせるために、地域の方々に積極的に関わり、地域の方を巻き込んだ活動にしている。					
<h3>1 ねらい</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のよさや課題について学び、「私たちが考える郷土」と題して中学生なりの地域課題に対する解決案を地域の方に発信する活動を通し、郷土に生きる一市民として進んで行動していこうとする態度を培う。 						
<h3>2 活動の概要</h3> <p>※平成26年12月13日(土) 本校校舎・体育館にて</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高山市のいいところと課題を生徒なりの視点でとらえる。 ②大人(高山市内外)は高山のいいところと課題をどう捉えているか市内各地区でインタビュー。 ③テーマを絞り込む。※観光・防災・文化継承・農業・木工業・国際化・伝統継承・福祉 に設定。 ④個人テーマを設定し、調べ学習や専門家から学ぶ機会を通して個人の構想を練り上げていく。 ⑤プレゼン形式の活動に磨きをかけ、自分の思いが伝わるように内容や発表方法を工夫する。 ⑥「郷土の未来を語る会」で、1・2年生・地域の方・保護者・専門家に向けて発信する。 ⑦自分の発表を聞いた方々から頂いた意見をもとに、自らの活動を振り返り今後に生かす。 						
<h3>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・当日は約230人の、地域の方や保護者が足を運んで下さった。また、事前に専門家として講師を務めて下さった方々も来て下さった。 ・頷きながら生徒の発表をお聞きになる地域の方もおみえになり、中には挙手をして意見を述べて下さる方もみえた。 ・高山市役所農務課から、生徒が考えた構想について問い合わせがあった。 						
<h3>4 活動による児童生徒の変容(伸長・成長等)</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・人々に高山市のよさや課題を語ろうとする活動を通して、生徒たち自身が、今まで知っているようで知らなかった「自分たちの郷土、高山市」についてより深く知ることができた。 ・高山市の未来に対する自分たちの責任の重さについて考えることができた。また、一市民として「自分たちが今できること」や「これからやろうと思うこと」に対して、広い視野で考える力が高まった。 ・地域の方々に発表するという重みを捉えながら、自己表出の力やプレゼン能力を高めることができた。 ・1・2年生においても、先輩たちの考えを聞きながら、その構想のよさや課題、さらには発表の仕方などについて自分なりの意見を述べ、「来年度の自分たちはこう発表したい」という視点で活動することができた。 						

